

科目ナンバリング		U-LAS03 10007 SB48							
授業科目名 <英訳>		外国文献講読（法・英）II-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Law, English)II-E1				担当者所属 職名・氏名		法学研究科 教授 木村 敦子	
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	外国文献研究			使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2026・後期		曜時限	金3		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
<p>法学・政治学に関する英語の専門論文を精読することにより、基礎知識を身につけるとともに、正確かつ批判的に外国語の論文を読む訓練を行う。</p> <p>この授業では、アメリカ家族法に関する英語文献（Ruth Lamont, Family Law, second editon, Oxford University press, 2022）を講読する。当該文献の内容を検討することを通じて、アメリカ家族法に関する知見を獲得するとともに、日本家族法との比較検討を通じて、日本家族法の理解も深める。</p> <p>履修者は、割り当てられた部分の全訳を作成し、事前に提出する。報告者は、授業において、その内容を発表し、教員及び受講者全員と日本語訳について検討するとともに、文献で論じられている内容についても双方向・多方向形式で議論する。</p>									
【到達目標】									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語文献の読解力を高める。</li> <li>・正確な日本語訳につながる日本語の表現力を高める。</li> <li>・アメリカ家族法に関する基礎知識を習得する。</li> <li>・比較法的観点から日本法を検討する視点を獲得する。</li> </ul>									
【授業計画と内容】									
<p>第1回 イン트로ダクション 各回の和訳担当者を決める。また、文献を読むにあたり必要な前提知識について、簡単な講義を行う。</p> <p>第2回～第14回 文献講読 各回の担当者は、事前に和訳を提出することが求められ、これをまとめたものを、予め授業資料として配付する。教室では、まず担当者が自身の和訳内容を報告し、それをもとに、教員と担当者、さらに他の受講生との間で、和訳の正確性や文章の内容理解、日本法との比較といった観点から議論する。</p> <p>期末試験 論述試験を行う。英文和訳問題と文献の内容に関する説明問題とを出題する。</p> <p>第15回 フィードバック 具体的な方法は、別途連絡する。</p>									
【履修要件】									
外国文献講読（法・英）は専門への導入コースなので二回生以上を対象とする。									
【成績評価の方法・観点】									
<p>定期試験（筆記）70%</p> <p>平常点評価（出席と参加の状況10%、授業内での報告内容20%）30%</p>									
外国文献講読（法・英）II-E1(2)へ続く									

外国文献講読（法・英）II-E1(2)

授業における報告を行うことは必須。  
4回以上授業を欠席した場合には、不合格とする。

**[教科書]**

Ruth Lamont 『Family Law second edition』（Oxford University Press, 2022）ISBN:978-0-19-289353-6  
授業で講読する部分については、開講前または授業時にコピーを配布する。詳細は、KULASISまたはLMSを通じて通知する。

**[参考書等]**

（参考書）  
授業中に紹介する

**[授業外学修（予習・復習）等]**

毎回の授業では、訳読を担当しない部分についても、事前に目を通しておくこと。

**[その他（オフィスアワー等）]**

この科目は法学部生を対象に開講される科目です。履修人数に余裕があれば、法学部以外の学生も履修することが可能ですが、法学部事務室で事前申込が必要です。詳細は履修（人数）制限に関するお知らせで確認してください。

**[主要授業科目（学部・学科名）]**

法学部